

# いろんな「ちがい」と共に演劇を創ってみる

その2

ワークショップ  
参加者募集！

参加費  
無料

障がい、年齢、性別、国など、いろんな「ちがい」のある人達と共に演劇を創ってみたら、  
創作の場にいろんなコミュニケーションが生まれて、新しい視点や表現が生まれるかもしれないー。

目の見える人、見えない人、見えにくい人、参加者みんなでいろんな表現を「共にやってみる」いろんな出会いのワークショップです。

視覚



2024年12月～2025年2月

2025年2月～3月

聴覚



耳の聞こえる人、聞こえない人、聞こえにくい人、参加者みんなで演劇の小作品を「共につくってみる」ワークショップです。

ぽんプラザホールでは『いろんな「ちがい」と共に演劇を創ってみる』をテーマに、いろんな企画を開催しています。

2年目は、視覚障がいと聴覚障がいを取り上げた2つのワークショップを開催します。



文化庁委託事業  
「令和6年度障害者等による文化芸術活動推進事業」

上のマークは音声コード「Uni-Voice」です。  
専用アプリなどで読み取ると、内容を音声で  
聞くことができます。

視覚

# 「ぼん」な「えかた」に出会う 「ぼん」な「表現」に出会う

目の見える人、見えない人、見えにくい人、  
参加者みんなでいろんな表現を「共にやってみる」いろんな出会いのワークショップです。

会場 / ぽんプラザホール



photo by Kenji Kagawa

**①ダンスのワークショップ**  
2024年12月7日(土) 14時-16時  
北尾 亘 | きたお わたる  
振付家・ダンサー・俳優

単発参加  
OK!



12/7&2/11  
アシスタント

太めパフォーマンス  
(乗松薫/鉄田えみ)



**②言葉と身体のワークショップ**  
2025年2月11日(火祝) 13時-16時  
大崎 清夏 | おおさき さやか  
詩人

神奈川県生まれ。詩集「指差すことができない」で中原中也賞受賞。著書に「私運転日記」「目をあけてごらん、離陸するから」「踊る自由」などがある。美術作品や舞台芸術における協働制作も多く、奥能登国際芸術祭「さいはての朗読劇」(22/23年)では脚本と作詞を担当。2024年には舞台「未来少年コナン」劇中歌歌詞も手がけた。



**③演劇のワークショップ**  
2025年2月16日(日) 13時-17時  
古賀 今日子 | こが きょうこ  
俳優



九州大谷短期大学国文学科演劇放送コース卒業後、福岡の劇団ギンギラ太陽'sに2011年まで出演。現在は遠隔劇団「yum yum cheese!」、女優落語ユニット「月光亭落語会」に所属し積極的に俳優活動を行っている。また演劇ワークショップの進行役としても活躍。2023年に社会教育士の称号を得て、老若男女誰とでも、表現を楽しむ場を作り続けている。ビールが好き。

視覚用申込 QRコード



申し込み

募集人数 / 各回20人程度 参加費 / 無料  
対象 / 16歳以上ならどなたでも(演劇経験不問)

問合せ

ぽんプラザホール(担当 / 橋本・仁田野)  
092-262-5027(10~19時 / 第3水曜日休館)  
ironna.engeki.pom@gmail.com

下記内容を記載のうえ ironna.engeki.pom@gmail.com にメールを送信、もしくは各QRコードよりお申込みください。

1. 参加希望回(視覚①/②/③/聴覚(全3回))
2. 名前(よみかた)
3. 生年月日
4. 性別
5. メールアドレス
6. 電話番号(携帯番号)
7. 住所
8. 所属(学校 / 劇団等あれば)
9. よろしければ参加しようと思った理由をお書きください
10. 演劇経験の有無(経験不問)
11. 参加にあたって配慮が必要なことなどあればお知らせください

いろんな「ちがい」と共に演劇を創ってみる その2



# 「ぼん」な「えかた」に出会う 「ぼん」な「表現」に出会う

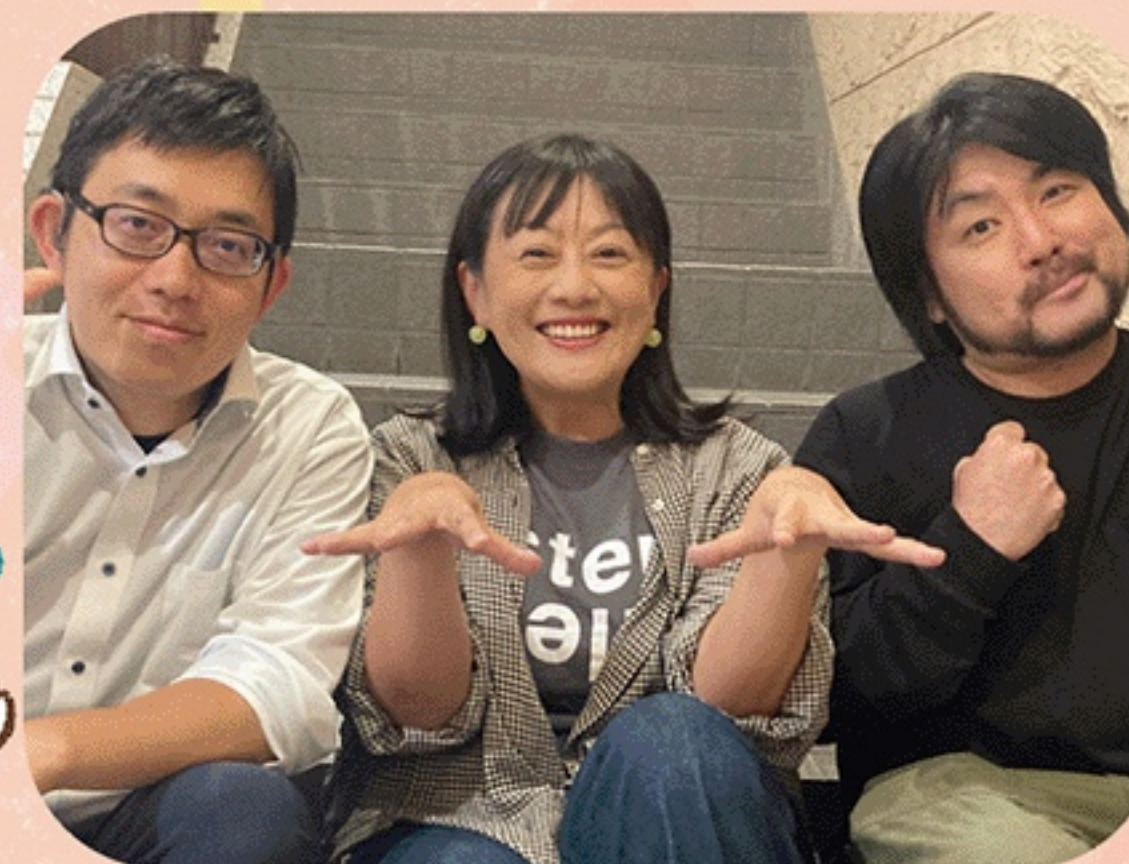
耳の聞こえる人、聞こえない人、聞こえにくい人、  
参加者みんなで演劇の小作品を「共につくってみる」ワークショップです。

会場 / 市内練習場を予定 ※すべての回に手話通訳者がいます

第1回 2月24日(月祝) 13時-17時  
第2回 3月8日(土) 13時-17時  
第3回 3月9日(日) 13時-17時

古賀 今日子 | こが きょうこ

九州大谷短期大学国文学科演劇放送コース卒業後、福岡の劇団ギンギラ太陽'sに2011年まで出演。現在は遠隔劇団「yum yum cheese!」、女優落語ユニット「月光亭落語会」に所属し積極的に俳優活動を行っている。また演劇ワークショップの進行役としても活躍。2023年に社会教育士の称号を得て、老若男女誰とでも、表現を楽しむ場を作り続けている。ビールが好き。



わたしたちと一緒に演劇で笑おう!

鈴木 玲雄 | すずき れお

1986年2月滋賀県大津市生まれ。手話劇団「福岡ろう劇団博多」代表。2歳半のころ、原因不明で混合性難聴になる。滋賀県聾話学校幼稚部卒業、普通学校に進学。高校時代に演劇部の文化祭発表に惹かれ、俳優活動始める。同時にいつか全くきこえなくなるだろうと、手話を学び始める。

荒木 宏志 | あらき ひろし

1987年10月29日生まれ。劇団ヒロシ軍・代表。長崎県演劇協会・副会長。諫早独楽劇場・劇場ディレクター。脚本・演出・出演・制作すべて担当。荒木宏志が創る作品のテーマは「青春・情熱・衝撃」の3つで、最近はその「爽快なバッドエンドと大きな愛」が入る。長崎県諫早市を拠点に県内外問わず飛び回り演劇活動している。

聴覚用申込 QRコード

